

2023年度 法人共通 卒後2年目研修【集合&オンライン】

「チーム連携におけるメンバーシップ」

～周囲と調和し働くための基本的知識について学ぼう～

受講者の皆さまが、自分が所属する組織の一員として覚悟と責任をもち、組織の向かう方向を理解して、自部署の目標達成に向けメンバーシップを発揮して取り組むことができるよう、法人全体で応援します。

卒後2年目の職員が、チームの一員としての自覚をもってメンバーシップを発揮できること、多職種連携のあるべき姿から自身の課題を見出すことを目的に開催しました。

■開催日時：①11月10日（金）14：30～16：30 ②11月18日（土）10：00～12：00

■受講者数：205名

助産師3、看護師107、臨床検査技師7、薬剤師9、管理栄養士5、理学療法士28、作業療法士9、社会福祉士5、介護福祉士6、臨床工学技士7、救急救命士6、言語聴覚士4、栄養士1、准看護師1、看護補助者1、事務職6

研修内容



1. 組織のあり方と目標設定について
2. チームについて
3. メンバーシップの基礎理解
4. 多職種連携・多職種協働における職種役割とメンバーシップの発揮
5. コミュニケーションについて

講師のご紹介

医療法人協和会
川西市立総合医療センター
患者支援センター 副センター長
渡邊 成吾氏



受講者の感想（アンケートより）

- ・組織内での自身の役割を見つめ直し、チーム内・外に関わらず組織貢献できるよう業務に取り組みたい。
- ・チーム内で助け合うことや、時には助けを求めることで安全に医療が行えるようにすることが必要。
- ・先輩方が自分の仕事に集中するために、自分ができることは積極的に引き受ける中で成長もできると思う。
- ・自分がどんな時にどんな感情になるかを知り、自分の感情をコントロールできるようにしたい。
- ・事務員として受付に来られる様々な方に対して正しい敬語を使うことや、家族様からの伝言も多いのでしっかり「報告・連絡・相談」していきたい。
- ・それぞれの専門性を理解・尊重しながら業務に取り組んでいきたい。
- ・「多職種連携」や「チーム医療」という言葉の意味や詳細を知る機会はなかなかなく、改めて学ぶことができてよかった。